

船舶インシデント調査報告書

平成28年7月28日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

インシデント種類	安全阻害
発生日時	平成28年2月27日 13時40分ごろ
発生場所	熊本県宇城市寺島北西方沖（三角港） 寺島灯台から真方位275° 800m付近 （概位 北緯32° 35.7′ 東経130° 27.9′）
インシデントの概要	旅客船Vista Bonitaは、南西進中、旅客が落水し、安全が阻害された。
インシデント調査の経過	平成28年3月1日、調査を担当する主管調査官（長崎事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済み
事実情報	
船種船名、総トン数	旅客船 Vista Bonita、19トン
船舶番号、船舶所有者等	293-29437熊本、株式会社シークルーズ
乗組員等に関する情報	船長、二級小型・特定 甲板員、操縦免許なし
負傷者	なし
損傷	なし
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南西、風速 約4m/s、視界 良好 海象：海上 平穏
インシデントの経過	<p>本船は、南西進中、後部デッキにいた旅客1人が落水した。</p> <p>本船は、船長が、旅客の家族からの連絡を受け、反転して引き返し、海面に浮いていた旅客に救命浮環を投げて引き寄せたものの揚収できなかったが、付近にいたプレジャーボートが来援して旅客を救助した。</p> <p>本船の後部デッキは、船首方に客室出入口があり、周囲にハンドレールが設置され、同デッキの前部両舷には扉付の旅客乗降口が、デッキ後部両舷にはハンドレール間にチェーンのみが張られた乗組員乗降口が設けられていた。</p> <p>本インシデント当時、旅客の落水を目撃した者はいなかった。</p> <p>甲板員は、本インシデント後、後部デッキ右舷側の旅客乗降口（以下「本件乗降口」という。）の扉を閉めるのを失念していたことに気付いた。</p>
分析	<p>本船は、後部デッキにいた旅客が、落水したものと考えられる。</p> <p>本船は、甲板員が、本件乗降口の扉を閉めることを失念していたことから、後部デッキにいた旅客が本件乗降口から落水した可能性があると考えられるが、旅客が落水した状況を明らかにすることはできなかった。</p>

原因	本インシデントは、後部デッキにいた旅客が落水したことにより発生したものと考えられる。
参考	<p>本事故後、運航管理者は、次の改善措置を採った。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 船長と甲板員の2人が旅客乗降口の閉鎖を確認することとし、また、子供連れの旅客に対して、子供の動静に注意するよう船内放送を行うとともに、直接、声をかけて注意喚起することとした。 <p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 乗船後には、乗降口の閉鎖状況を確認すること。・ 出入港時には、旅客に対して船内放送等で落水等に関する注意喚起を行うこと。